主要地方道 浪江国見線
伊達崎橋（だんざきはし）修繕代行事業　事業説明会

令和7年11月20日

東北地方整備局
東北道路メンテナンスセンター
福島河川国道事務所

国土交通省

■説明内容

１．経緯
２．橋梁補修補強等の計画について
３．迂回路・仮橋工事について

1. 経緯

伊達崎橋修繕代行事業の概要

国土交通省

- 阿武隈川を渡河する主要地方道浪江国見線伊達崎橋は、令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震により、一時通行止めとなる甚大な被害が生じました。（現在も大型車両の通行規制並びに監視体制を継続中）
- 復旧にあたって直轄診断を実施。その結果示された対策には高い技術力を要することから、福島県知事からの要望を受け、国の修繕代行による復旧を行っています。また、福島県による歩道整備事業計画と一体となって、新たに「歩道整備」も行います。





伊達崎橋 諸元

橋長	：	303.1m
上部構造形式	：	単純PCポステンT桁・7連
架設年次	：	昭和36年
交通量	：	5,261台／日（R3センサス）

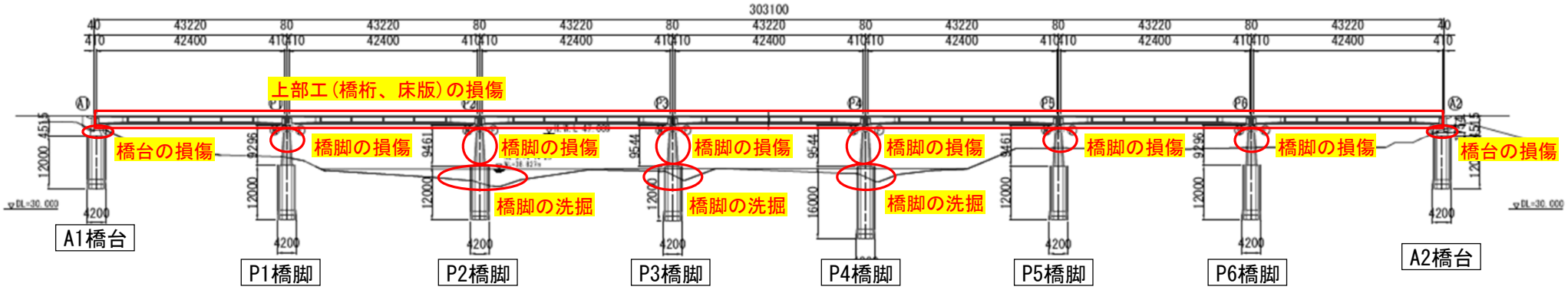
経緯

令和4年 3月16日	福島県沖地震発生
	福島市、伊達市、桑折町の最大震度：６弱
令和4年 4月 8日	直轄診断の決定
令和5年 3月10日	福島県へ直轄診断結果報告
令和5年 3月16日	福島県から修繕代行の要請
令和5年 4月	修繕代行新規事業化
令和6年 4月16日	復旧方針の決定

伊達崎橋の損傷状況（詳細調査結果）

国土交通省

- 河川流水部のP2橋脚～P4橋脚では、局所的に著しい河床洗掘が生じているのを確認しました。
- 下部工（橋台、橋脚）では、コンクリートひび割れや鉄筋腐食などの損傷を確認しました。
- 上部工（橋桁、床版）では、各所でコンクリートのひび割れや欠損、橋面からの漏水と遊離石灰を確認しました。



○河川流水部における橋脚周辺の河床洗掘



○橋脚の損傷
（ｺﾝｸﾘｰﾄ剥がれ、鉄筋露出・破断）



○上部工（橋桁）の
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損

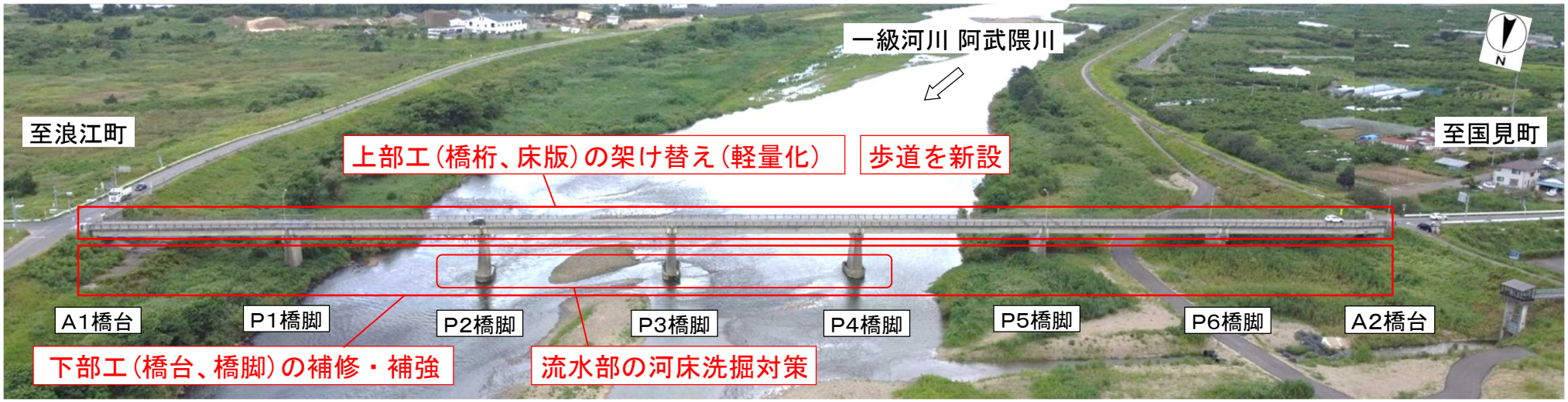


○上部工（床版）の
漏水と遊離石灰



伊達崎橋の復旧方針

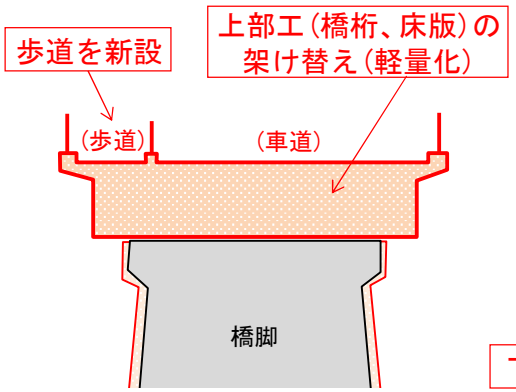
- 詳細調査結果を踏まえ、今後の増水や大規模地震への対策として、「流水部の河床洗掘対策」、「下部工（橋台、橋脚）の補修・補強」、「上部工（橋桁、床版）架け替えによる軽量化」を行うこととしました。
- 併せて、福島県による歩道整備事業計画と一体となって、新たに「歩道整備」を行います。



○現在の伊達崎橋



○新しい伊達崎橋





下部工（橋台、橋脚）の補修・補強



流水部の河床洗掘対策

伊達崎橋の復旧方針

➢ また、復旧工事に相当の期間を要することから、地域の交通確保のために、「仮橋の設置」を行い、上部工の架け替え工事を実施することとしました。



２．橋梁補修補強等の計画について

１．流水部の河床洗掘対策

２．下部工（橋台、橋脚）の補修・補強

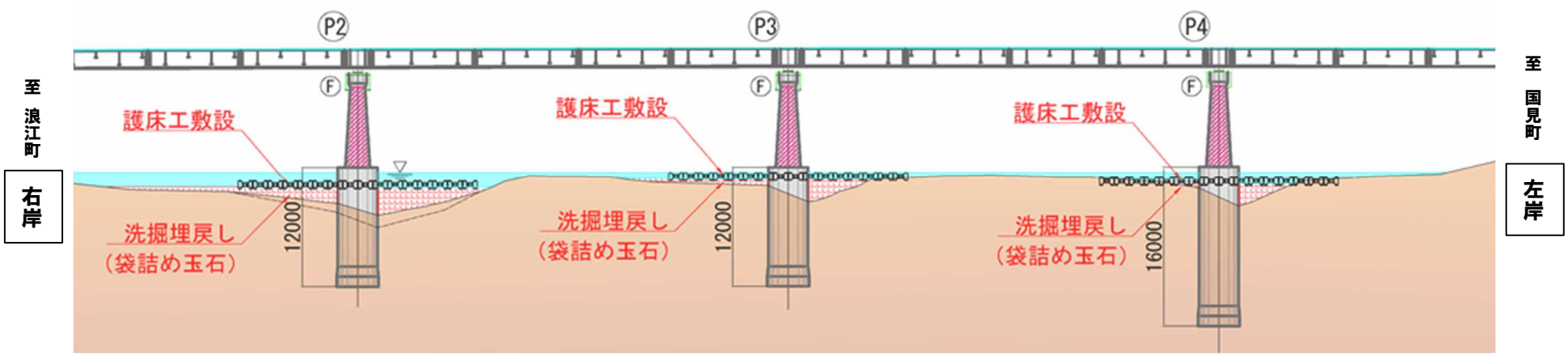
３．上部工（橋桁、床版）架け替えによる軽量化

流水部の河床洗掘対策

国土交通省

➢洗掘箇所を埋め戻し、再度洗掘を受けないよう護床工を敷設します。

側 面 図



【現況】



▲河床洗掘（橋脚の周りが掘れている）

【補修イメージ】



▲埋戻し（袋詰め玉石）



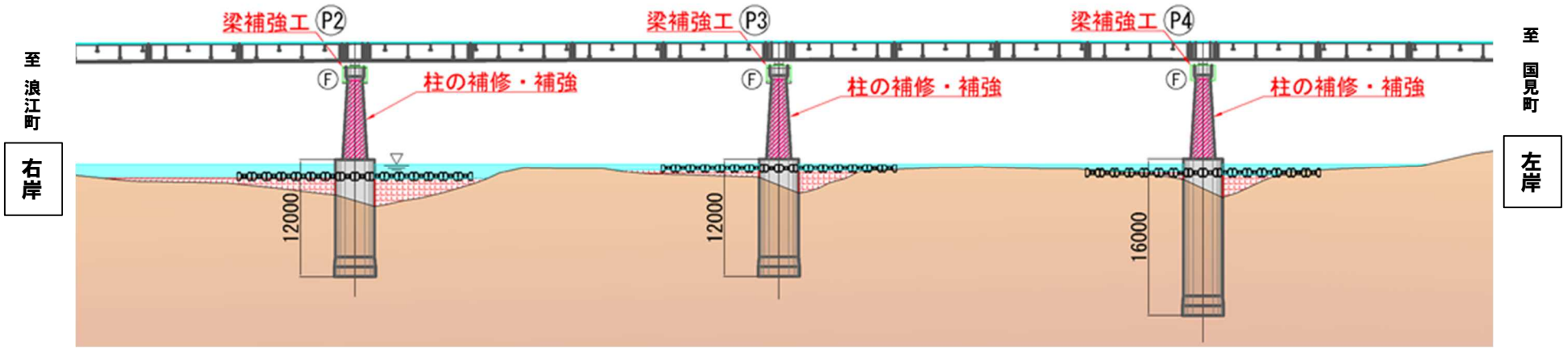
▲護床工

下部工（橋台、橋脚）の補修・補強

国土交通省

➢ 橋脚損傷の補修並びに耐震補強を行います。併せて、歩道整備に必要な改修（橋台拡幅）を行います。

側 面 図



【現況】



▲橋脚基部損傷

【補修・補強イメージ】

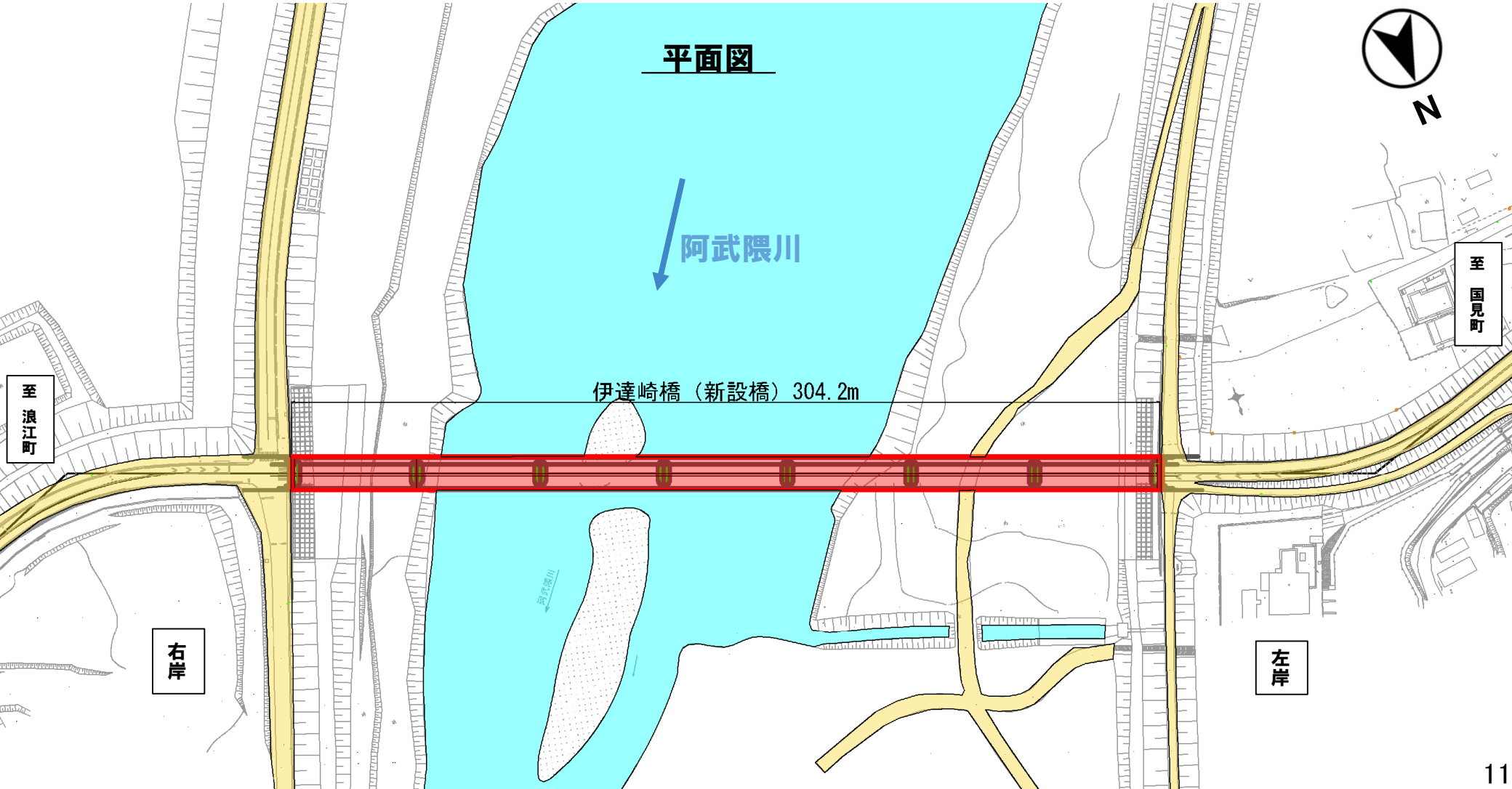


▲橋脚巻き立て

上部工（橋桁、床版）架け替えによる軽量化

国土交通省

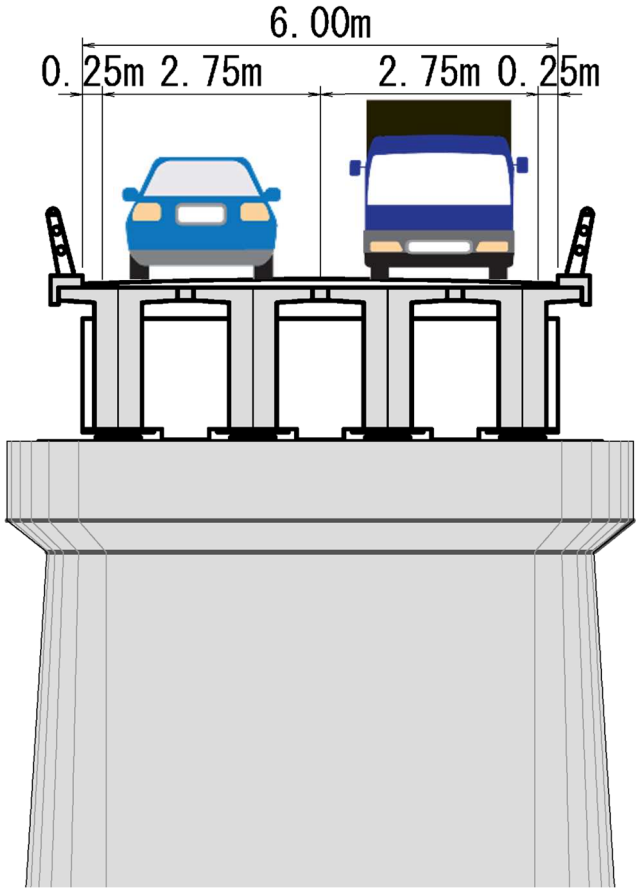
橋の位置は、現在と同じ位置となります。



上部工(橋桁、床版)架け替えによる軽量化　※幅員変更

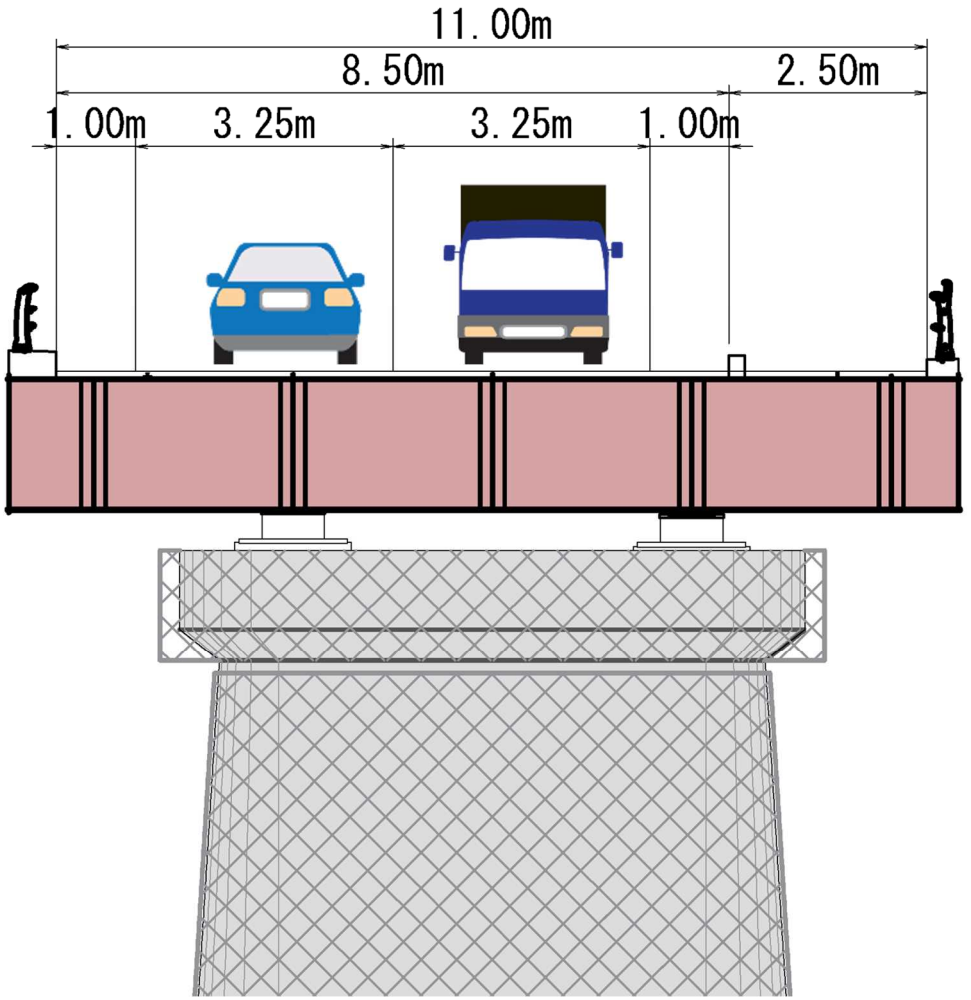
国土交通省

架け替え前の上部構造と幅員



○車道　幅2.75m×2車線
○路肩　幅0.25m×2車線

架け替え後の上部構造と幅員



○車道　幅3.25m×2車線
○路肩　幅1.0m×2車線

３．迂回路・仮橋工事について

迂回路・仮橋工事について

国土交通省

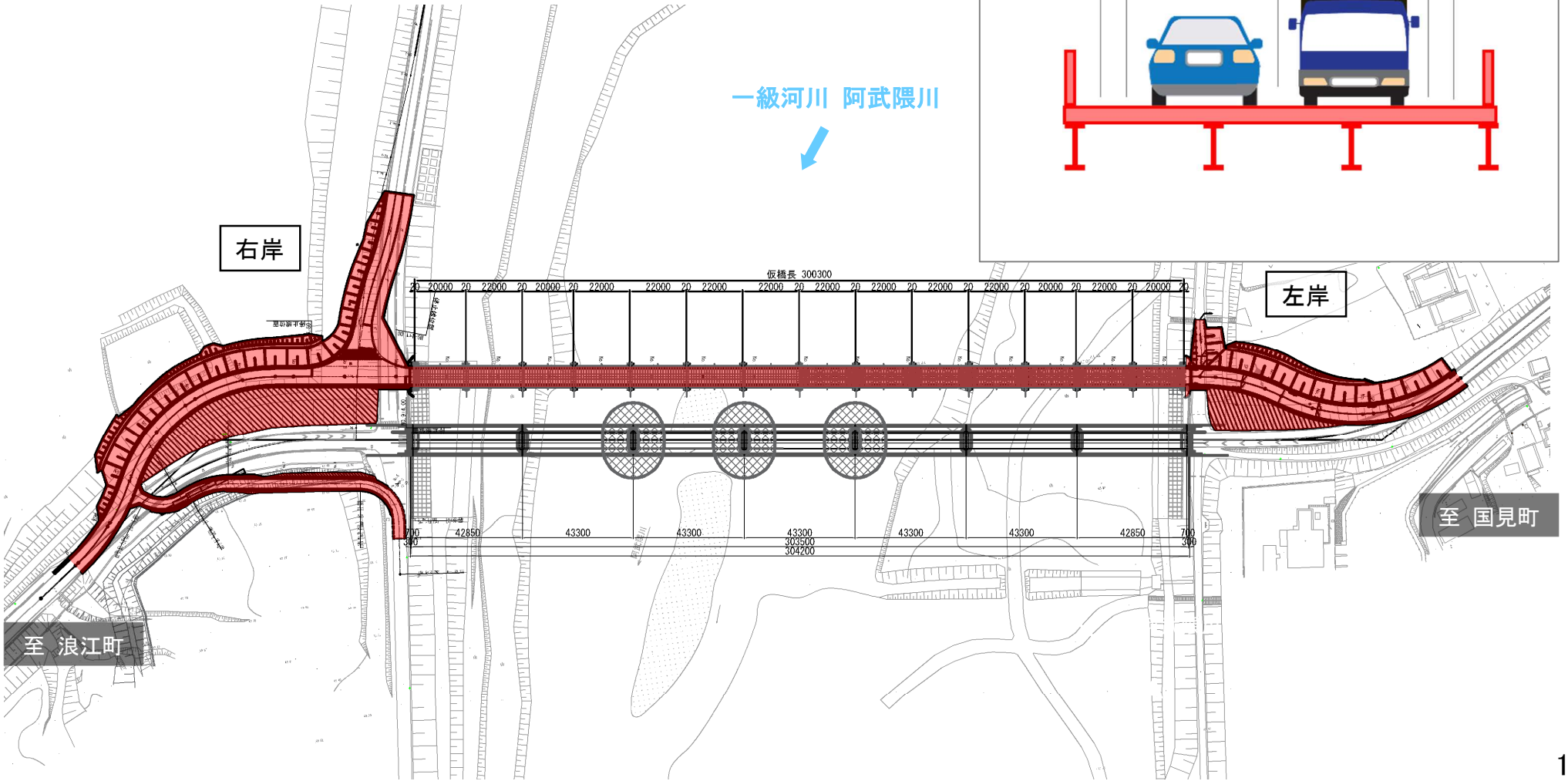
- 交通確保のために、伊達崎橋の上流側に「仮橋」を設置します。
- 仮橋への交通切り回し後は、現在通行が制限されている大型車両の通行も可能となります。



迂回路・仮橋工事について

国土交通省

迂回路・仮橋平面図

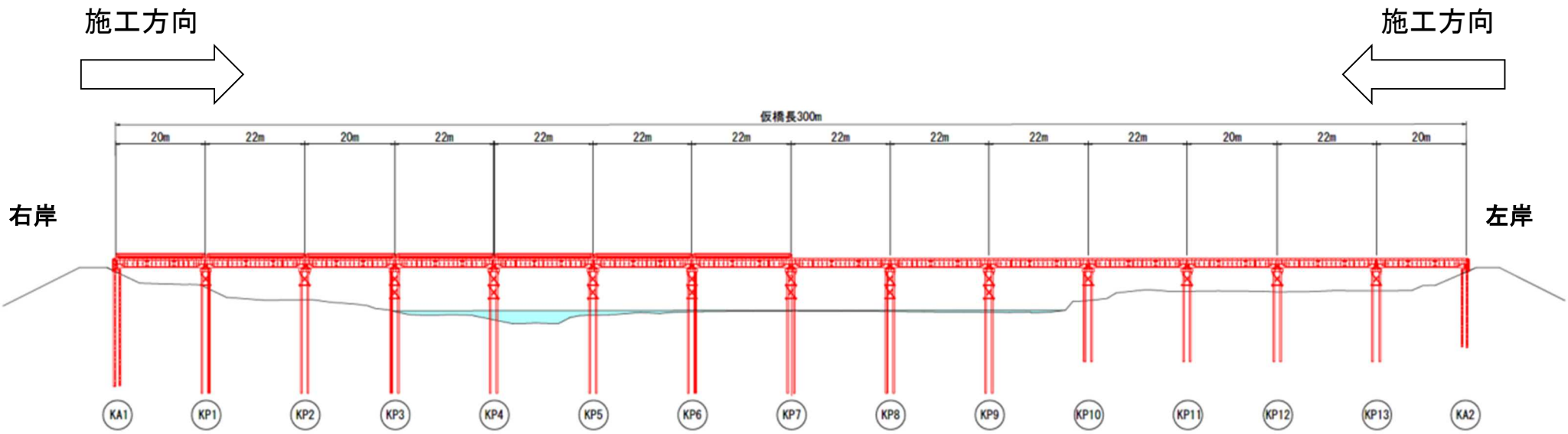


仮橋断面図

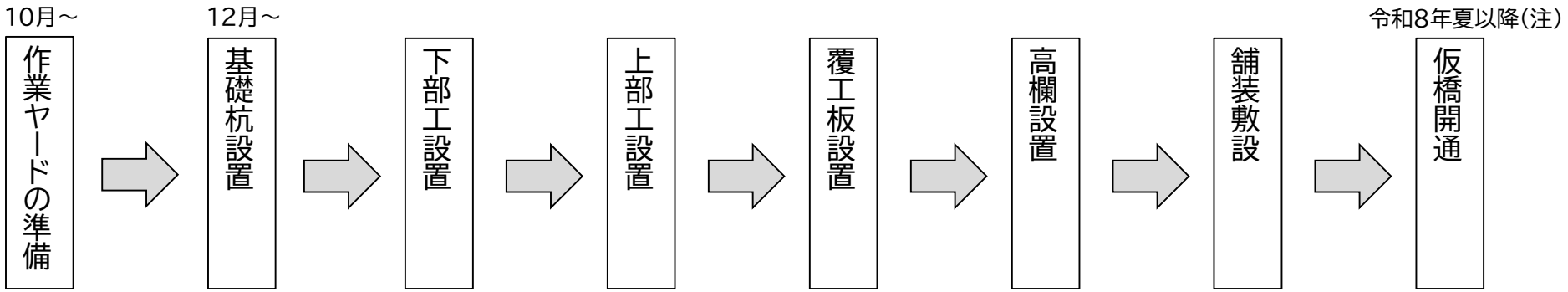
仮橋工事の流れ

国土交通省

➢施工は両岸から同時に行い、早期完成を目指します。



＜仮橋工事の手順＞



(注)現時点の予定であり、気象状況等により変更になる場合があります。

仮橋工事の流れ

国土交通省

➢工事のイメージ （国道399号伊達橋の事例）



仮橋工事の流れ

国土交通省

➢工事のイメージ （国道399号伊達橋の事例）



仮橋工事の流れ

国土交通省

➢工事のイメージ （国道399号伊達橋の事例）



仮橋工事の流れ

国土交通省

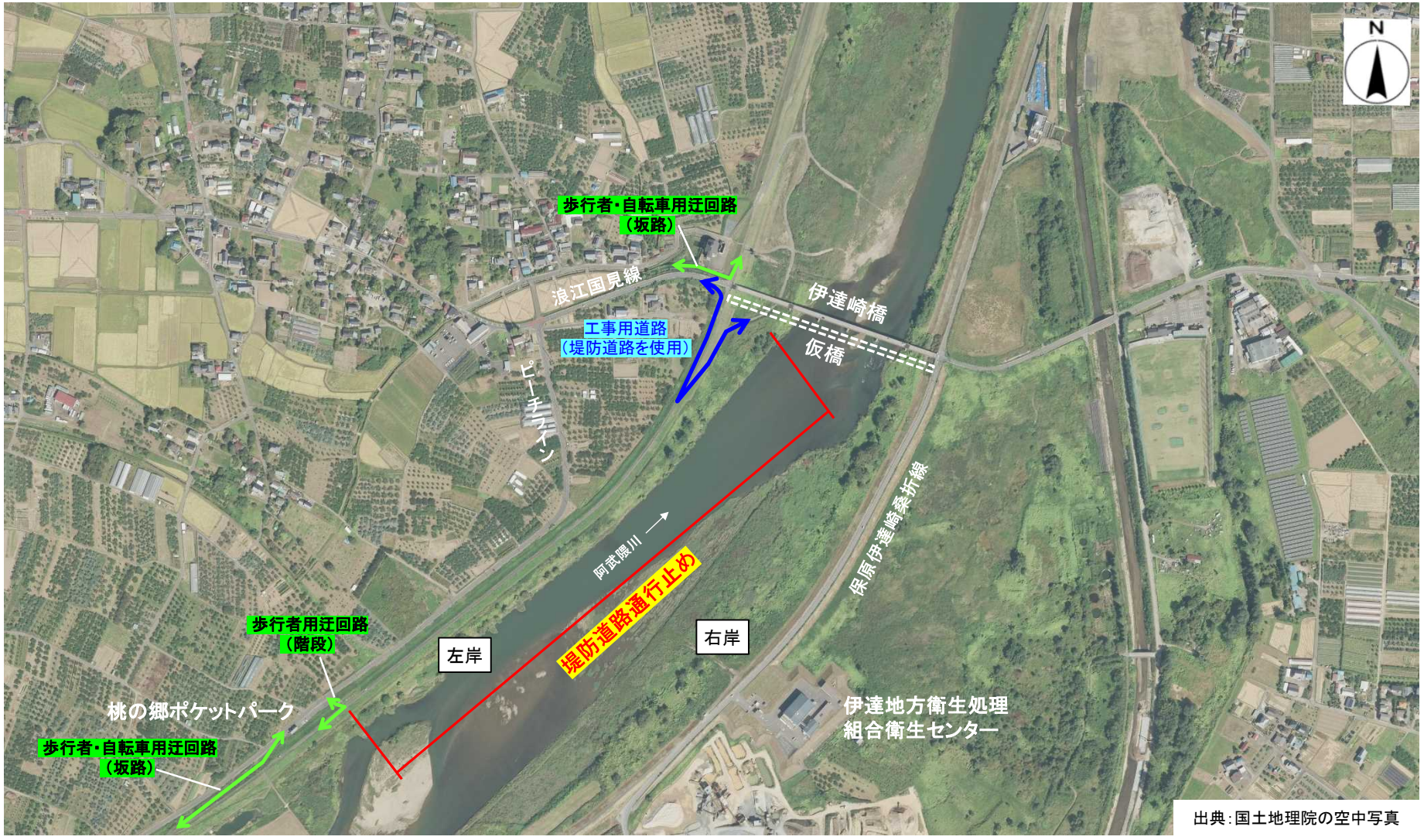
➢ 工事のイメージ （国道399号伊達橋の事例）



通行規制について

国土交通省

- 仮橋工事中は、今までどおり伊達崎橋の通行は可能です。なお、一時的に片側交互通行規制を行う場合があります。
- 左岸側の堤防道路を工事用道路として使用するため、通行止めとさせていただきます。
  （令和7年11月～令和8年6月までの予定）

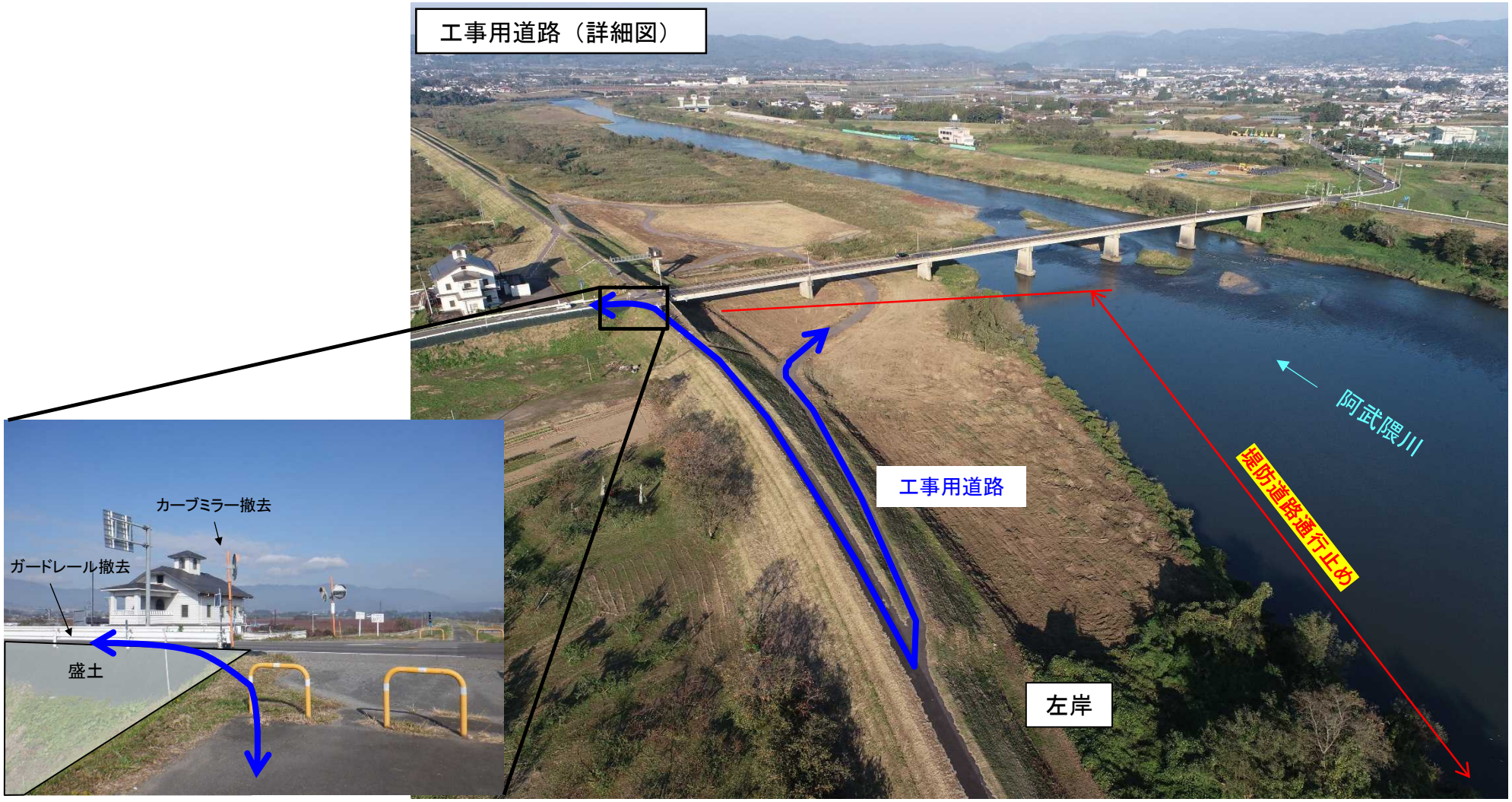


出典：国土地理院の空中写真

通行規制について

国土交通省

- 仮橋工事中は、今までどおり伊達崎橋の通行は可能です。なお、一時的に片側交互通行規制を行う場合があります。
- 左岸側の堤防道路を工事用道路として使用するため、通行止めとさせていただきます。
  （令和7年11月～令和8年6月までの予定）



工事中の騒音・振動について

➢仮橋の基礎杭施工時には、騒音・振動が発生する事があります。
間近の民家との敷地境界付近で振動・騒音測定を行いながら、施工を行います。



発注工事

国土交通省

- 伊達崎橋の復旧に関する工事は、3工事契約しています。
- 作業時間帯は、午前8時から午後5時まで、週休2日で工事を行います。（基本的に、土・日・祝日は休工）

＜令和7年度工事一覧＞

令和7年11月20日時点

	工事内容	施工者	工事名	工期
①	河川流水部の洗掘対策、周辺の造成工事	渋谷建設（株）	伊達崎地区道路改良工事	R7.8.1～R8.3.27
②	左岸側の仮橋設置	りんかい日産建設（株）	伊達崎橋仮橋設置その1工事	R7.10.1～R8.6.18
③	右岸側の仮橋設置、舗装等	佐藤工業（株）	伊達崎橋仮橋設置その2工事	R7.11.10～R8.7.28

終わりに

関係機関と調整しながら、一日も早い復旧を目指して工事を進めてまいります。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

【問い合わせ先】

◎計画・設計関係

東北地方整備局　東北道路メンテナンスセンター　技術課　保全対策官　和田（わだ）　学（まなぶ）
TEL:022－352－3811

◎工事関係

東北地方整備局　福島河川国道事務所　工務第二課　建設専門官　對馬（つしま）　聡（さとし）
TEL:024－539－6126